

こ た ま 愛知県議会議員 樹神義和

誰もが魅力を実感できる“愛知”を目指して!!



県政レポート
No.46
(発行：2022年11月)

発行元：樹神義和事務所

〒473-0935 豊田市大島町前畑1-1

TEL：0565-52-7876 FAX：0565-52-7928

URL：http://www.kotama.net/

アフターコロナを見据えた 成長戦略の実現へ

新型コロナウイルスの脅威が続いており、県では8月から「BA.5対策強化宣言」を発出し感染拡大抑制に取り組み、新規陽性者数が減少傾向となった事を踏まえ、9月末をもって同宣言は終了となりましたが、引き続き、皆様には感染防止対策の徹底をお願いします。

なお、愛知県は本年11月27日に県政150周年の大きな節目を迎えますが、引き続き感染症の克服に向けて全県一丸となって取り組むとともに、ジブリパーク・ステーションAi等の150周年記念事業を最大限に活かしつつ、更なる発展に努めて参りますので、変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。



愛知県政トピックス①

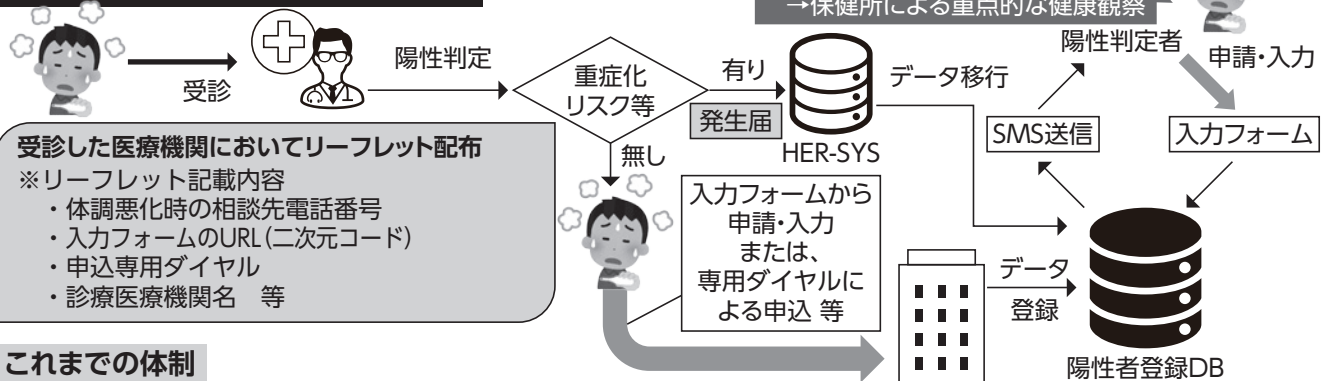
新型コロナウイルス感染症の「療養者支援体制が変更」となりました。

愛知県では従前から、新型コロナ患者の方の体調悪化時の健康相談は「受診・相談センター」、宿泊療養・配食等のサービス提供は「自宅療養者サービス窓口」で対応して参りましたが、国から新型コロナ患者の全数届出の見直しを全国適用する旨の通知があった事を受け、両窓口を統合して「愛知県健康フォローアップセンター」に名称変更し、体調悪化時の相談や、サービス提供の申込を受付けて参ります。

なお、「愛知県健康フォローアップセンター」には、自ら行った検査に基づき陽性者の登録を受付ける機能は設けられておりませんが、発生届の対象とならない患者の方についても、引き続き当センターにて必要な相談・支援を行って参ります。

愛知県の療養者支援について

発生届の全数届出見直し後(9/26～)



これまでの体制

受診・相談センター

体調悪化時の健康相談

統合して名称変更(9/16～)

自宅療養者サービス窓口

宿泊療養・配食・パルスオキシメーターサービス提供

愛知県健康フォローアップセンター

受診・相談窓口

自宅療養者サービス窓口

注：豊田市をはじめ中核市・政令指定都市は専用窓口が各市において開設されております。

令和4年9月定例議会 安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻す!!

議案

9月21日～10月14日までの会期で9月定例議会が開催され、新型コロナウイルス感染症緊急対策を含む「一般会計補正予算案」を中心に審議し、全ての議案を可決承認しました。なお、令和3年度決算関連は私も委員に選任された特別委員会にて継続審議となりました。

主な議案

新型コロナウイルス感染症緊急対策(予算)について

新型コロナウイルス感染症の克服に向けて、引き続きオール愛知で一丸となって取り組みを進めるため、オミクロン株対応ワクチンの接種開始に伴う大規模接種会場の開設期間延長等の対策を行うと同時に、コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策など切れ目なく対策が行えるよう、令和4年度に入って総額3,183億円(内、9月定例議会では923億円)を可決しました。なお、感染の急増や経済の急変に対応し、臨時・緊急に実施すべき対策については、状況に応じて今後も機動的に対応して参ります。

補正予算の主な内容

1 感染拡大防止や医療面での対策

感染拡大防止に向けた施策や医療提供体制の更なる強化のための取り組みを実施

- 高齢者インフルエンザ予防接種補助金
- ワクチン大規模集団接種会場運営費 等



2 県民生活への対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため、様々な側面から対策を実施

- 愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費
- 社会福祉施設光熱費高騰対策支援金 等



3 経済対策

企業等の経済活動への影響を最小限に抑えるとともに、経済活動の回復や強靱な経済構造の構築に対する支援策を展開

- 貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援金
- 経済環境適応資金融資信用保証料補助金 等



(参考) 新型コロナウイルス感染症対策予算額

		予算額
令和元年度		20億円
令和2年度		4,519億円
令和3年度		6,512億円
令和4年度	当初予算	1,920億円
	追加補正	41億円
	5月補正	144億円
	6月補正	154億円
9月補正		923億円
合 計		1兆4,234億円

代表質問

9月定例議会では自由民主党・新政あいちの2会派が代表質問を行い、新政あいち県議団からは幹事長の天野正基議員(小牧市選出・4期)が登壇し、直面する県政諸課題について質問を行いました。

主な質問

「あいち重点政策ファイル330プラス1」について

Q 「あいち重点政策ファイル330プラス1」に掲げた施策の進捗状況をどのように評価し、また、自身の去就を含め、今後、どのように取り組んでいくのか?

大村知事

答 弁 2019年の知事選挙の際に、皆様にお示した「あいち重点政策ファイル330プラス1」については、コロナ禍においてもロードマップを毎年度更新しながら、この任期4年間で330項目すべての政策の実現を目指し全力で取り組みを進めてきた。

今後も愛知が我が国の発展を力強くリードしていくためには、感染症リスクの増大・デジタル技術の急速な発展などの変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければならない。

従って、これからも引き続き、新政あいち県議団始め県議会と十二分に連携して、県民の皆様から与えられた任期をしっかりと全うし、さらに、日本をリードする未来の愛知の発展にも責任を担っていきたい。



答弁する大村知事

知事答弁を受けての「新政あいち県議団」の対応

私が所属しております「新政あいち県議団」では、「あいち重点政策ファイル330プラス1」の進捗状況調査等を通じて、大村知事の3期12年の活動実績を高く評価しておりましたが、来期に向けての質問に対する大村知事の答弁は事実上の4選出馬表明と受け止め、会派内で議論の結果、全員一致をもって大村知事4選出馬を支持する事に決定しました。

委員会

今年度の所属委員会である「警察委員会」が10月6日と14日に開催され、委員会に付託された工事請負契約の締結(岡崎警察署庁舎建築工事)等の議案について審議するとともに、一般質問として「サイバー空間の安全確保」について警察本部の考えを質しました。



「サイバー空間の安全確保」についての質問を行った背景

昨年中のサイバー犯罪の検挙件数は過去最多となっており、また、インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額も、引き続き高水準で推移しています。

現在、サイバー空間は日常生活の一部として重要な社会経済活動が営まれる公共空間へと変貌を遂げており、県民にとって安全安心なデジタル社会の実現のためには、警察としての取り組みは重要かつ必要不可欠と考え、質問テーマとして選定しました。

主な質問①

直近の犯罪状況について

Q 愛知県内のサイバー犯罪・サイバー攻撃の直近の状況はどのようになっているのか?

愛知県警察

答 弁 県警察に寄せられるサイバー犯罪に関する相談件数は年々増加しており、特に本年は過去最多を記録した令和3年を上回るペースで推移し、8月末時点で9,194件と去年同期より+2,366件(+34.7%)という状況であり、検挙状況についても本年8月末時点で去年同期より16件多い530件を検挙した。

なお、サイバー攻撃とは重要インフラの基幹システムを機能不全に陥れ、社会の機能を麻痺させるサイバーテロ及び情報通信技術を用いて政府機関や先端技術を有する企業から機密情報を窃取するサイバーインテリジェンスの総称だが、我が国では社会的混乱が生じるようなサイバーテロは現在のところ発生していない。



警察委員会の開催風景

主な質問②

サイバー犯罪に対する個人、企業・団体への取り組みについて

Q 個人、企業・団体のそれぞれに対し、サイバー空間の安全確保に向けて、これまでどのような取り組みを行い、今後は更にどのような点に注力していくのか?

愛知県警察

答 弁 個人の方々に対しては、サイバー犯罪に対する防犯意識を持ってもらえるよう、様々な機会を活用して防犯対策に資する情報発信を行っており、企業・団体に対しては、情報セキュリティ対策の促進が図られるよう、企業等を狙ったサイバー犯罪の手口や対策に関する情報を共有するとともに、個別のサイバー防犯診断やセミナー等を実施している。

サイバー犯罪の被害に遭わないためには、個人、企業・団体のいずれにおいてもインターネットの利用者側の対策が非常に重要であり、今後も様々な機会を活用して新たな手口やその防犯対策に資する情報を積極的に発信するなどして、サイバー空間の安全安心の確保に努めていく。

主な質問③

高度な専門知識を有する警察官の確保・育成について

Q サイバー空間の安全確保には、警察として高度な専門知識を有する職員の確保・育成が必要と思うが、これまでどのように取り組み、今後はそうした職員をどのように活用していくのか?

愛知県警察

答 弁 高度な情報技術を有する人材確保のため、情報技術区分採用枠を設け48名がサイバー犯罪捜査や情報管理に関する業務等に従事しているほか、民間企業における情報技術者としての勤務経験者4名を特別採用した。

これらの職員については、複雑・巧妙化するサイバー犯罪に的確に対応するため、警察本部内のサイバー関連所属に優先的に配置するとともに、主要な警察署にもこれらの職員を配置し、組織全体の基盤強化を図っているが、サイバーセキュリティ人材はまだ不足しており、今後も優秀な人材の確保に努め、その育成及び活用にも取り組んでいく。

サイバー犯罪は今後も複雑・巧妙化し、犯罪被害に遭う県民の方々が更に増加する恐れがあるため、サイバー空間の安全確保に向けて警察の更なる取り組み強化を要望しました。



樹神 委員

今年度も『自動運転実証実験』を行います。

愛知県は、**全国に先駆けて2016年度から自動運転の実証実験を積み重ね**、遠隔監視等の自動走行の技術に加え、商用5G、AR(拡張現実)等を掛け合わせ、**自動運転によるビジネスモデルの構築を進めてきました。**

本年度は、**社会実装に向けた取り組みをさらに深化**させ、交通事業者等が実運行で**再現可能なビジネスモデルの構築を目指し、3地域で実証実験を行います。**

なお、中部国際空港島及びその周辺地域では中部国際空港連絡道路を含むルートで**磁気マーカシステムを活用した安定走行を検証**するほか、モリコロパーク(愛・地球博記念公園)では**自動運転バスによる安全・安心な移動を検証**し、名古屋市内の都心においてはオンデマンド方式による自動運転車両の運行を行い、**都心での自動運転技術を用いたモビリティサービスの実現**を目指します。

実証実験の概要

モデル類型	ショーケース	集客施設	都心
実証地域	常滑市	長久手市	名古屋市
	中部国際空港・りんくう町・常滑市街	モリコロパーク(愛・地球博記念公園)	名駅南～栄南地区
道路種別	公道	閉鎖空間	公道
実施ルート(予定)	・イオンモール常滑～中部国際空港(公道:中部国際空港連絡道路含む) ・イオンモール常滑～りんくう町内～常滑駅(公道)	・西エントランス広場・児童総合センター付近(園内バスルートの一部)	・名駅南～栄南地区を東西に結ぶ三蔵通を中心とした経路(公道)



昨年度の実証実験見学風景

主な活動内容 2022.7～9



7月2日 道の駅「どんぐりの里いなぶ」リニューアルオープン記念式典に出席



7月16日 新政あいち2022定期総会 & 連合愛知政策研修会に出席



7月30日 豊田おいでんまつり おいでん総踊りオープニングに出席



8月15日 愛知県戦没者追悼式に出席



8月28日 上郷中学校避難所開設訓練を見学



9月16日 全トヨタ労働組合連合会 結成50周年記念式典に出席

『こたま 義和』に対するご意見・ご要望をお待ちしております。
また、ホームページにて日頃の活動内容をタイムリーにご紹介させていただきます。是非一度アクセスしてください。

こたま 豊田市

検索

<http://www.kotama.net/>



Facebookでは更に詳細な活動報告をさせていただきますので、是非フォローをお願いします。

